

1. 単元名 分数

2. 単元目標

○はした部分を表すのに分数を用いることに関心をもち、よさに気づいて進んで生活や学習に活用しようとする。

【関心・意欲・態度】

○単位分数の何個分という考え方をもとに分数の大きさの表し方を考えることができる。同分母分数の加減計算の仕方について考え、説明することができる。

【数学的な考え方】

○分数の大小の判断や、同分母分数の加減計算をすることができる。

【技能】

○分数の表記、数としての分数、連続量としての分数などの意味が理解できる。

【知識・理解】

3. 指導計画(全10時間)

第一次 はしたの大きさの表し方(3時間)

- | | | |
|-----|---------------------|-------|
| 第1時 | はしたの表し方による分数の動機づけ | —— 本時 |
| 第2時 | 分割による「1mの1/○」という表し方 | |
| 第3時 | 分数(真分数)の意味と表し方 | |
| 第4時 | 連続量の分数(真分数)の表し方 | |

第二次 分数の大きさ(3時間)

- | | |
|-----|--------------------------|
| 第1時 | 数としての分数の意味と単位分数の何個分という見方 |
| 第2時 | 数直線上の分数 |
| 第3時 | 分数の大小比較と、等号・不等号による表示 |

第三次 分数のたし算・ひき算(3時間)

- | | |
|-----|-----------|
| 第1時 | 同分母分数のたし算 |
| 第2時 | 同分母分数のひき算 |
| 第3時 | 練習 |

第四次 たしかめ(1時間)

4. 指導上の立場

(1) 単元について

分数の指導は第2学年で、 $1/2$ 、 $1/4$ などの簡単な分数について扱っている。本単元では、これらの経験をもとに、1mや1Lに満たないはしたの量を処理する必要から、分数の導入を図っている。このはしたの量の大きさは、単位量(1m、1Lなど)を等分割したもののいくつ分であるかによって分数を用いて表される。そこで、まず具体的な量としての分数から導入し、次に線分図や数直線によって、1という抽象的な大きさ(単位分数)のいくつ分ということで、 $2/5$ などの分数について理解を進めていく。このように、教科書では、具体的な量から抽象数としての分数の理解へという展開にしている。

(2) 児童について

省略

(3) 本時の指導のポイント

○課題把握のための学習課題と掲示の工夫

紙テープを4種類（1 m 1. 5 m 1. 2 5 m 1. 3 3 m）を準備し、はしたの長さをイメージしやすくする。

○自力解決のための活動の工夫

1 mのテープとはしたの長さのテープを児童分準備し、テープを折ったり印をつけたりすることで、（1 mを等しく何個に分けた1つ分だから1/○）と考えられるようにする。

○考えを深めるための発問の工夫

「なぜ1/○と思ったの。」と問いかけ、図と数値を結びつけて、視覚を通して数の意味を確認していく。

（4）児童の本単元に関する実態および本単元における個別目標

省 略

(5) 本時案 (第一次第1時)

目標	1 mを単位にして測ったときのはしたの長さの表し方を考えることを通して、「1/〇」(単位分数)について理解することができる。	
学習活動	教師の支援	備考
<p>1. 既習事項の復習</p> <p>2. 学習問題を知り、本時の課題をつかむ。</p> <p>3. 自分の考えを持ちテープを操作する。</p> <p>4. ②の問題をする。</p> <p>5. まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き算の計算カードと割り算プリントをする。 ・手を広げて1 mの長さを意識させ、1m=100 cmを想起し確認しておく。また、身近なもので30 cm・50 cm・60 cmも体感させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>問 テープのはしたの長さは何mでしょう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・1 mと1.5 mの紙テープを提示し、はしたをどう表すか。1 mをもとにして考えさせる。先ず先生のはしたのテープを見ながらおよそ50 cmや半分くらいと予想させる。どうすれば、mではっきり表せるか考えさせる。その際、線分図も参考にさせる。折ると簡単にできることに気がつき説明できるようにさせたい。 ・1 mのテープとはしたのテープを渡し、実際に操作させる。mで表すには分数が使えることを想起させ見通しを持たせる。 ・2等分の意味を確認し「等分」のことばを押さえる。 (1 mのテープを2等分したので1/2 mです。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1 mのテープを折ってはしたの長さを見つけよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・次に1年生のテープは「何等分」か予想させ、実際に折って操作させる。 ・3年生のテープも「何等分」すればいいかを考えさせる。 ・ここではしたを分数で表すと便利なことを実感させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに教科書のアイウの答えを書いて1 mの— (〇分の1) mと前の白板に書かせ声に出して言えるようにさせたい。 ・最後のウは折ったテープを示しながら説明させたい。 ・時間があれば、p 127の問題⑱アイウもさせたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1 mを等しくいくつに分けたかを考えるとはしたの長さがわかる。</p> </div>	<p>計算カード プリント 1 mものさし</p> <p>掲示用と操作用の1 mと1.5 mの紙テープ</p> <p>掲示用と操作用の紙テープはした2タイプ</p>

板書計画

1 mのテープを折ってはしたの長さを見つけよう

1 m
先生
1年生
3年

はした

1 mの半分→m
(2つに分けた1つ分) (2等分 (2分の1))

1年生

1 mの1/4 (4等分) (4分の1)

3年生

1 mの1/3 (3等分) (3分の1)

1 mをもとにする→m 単位

等分 (同じ長さに分ける) **分数**

ア
イ
ウ

P 1 2 7の問題

1 mを等しくいくつに分けたかを
考えるとはしたの長さがわかる。